

別紙－1 令和YY年度 避難訓練シナリオ(訓練マトリックス表の②)

日時:令和YY年MM月DD日 HH:MM~HH:MM

発災想定: ・大規模地震発生に伴う避難訓練
・津波警報発令に伴う避難訓練

訓練目的: ・一次および二次避難場所への確実な避難・点呼・報告
・各部門における確実な避難場所の確認

	時間(目安)	状況	担当	発災現場/職場対応	CK	担当	現地防災部隊	CK	担当	緊急対策本部	CK		
準備	前日まで			事前確認					事務局	近隣各社への避難訓練実施の連絡(Fax) 正門、南門に看板掲示(当日朝9時)			
	9:00								事務局	訓練に支障をきたすような荒天の場合は訓練中止を放送する (中止時のみ放送する)			
地震避難訓練	10:30~	地震発生 (初期避難) (一次避難)		自身の安全確保訓練 → 初期避難					事務局	避難訓練の実施放送 「ただ今から避難訓練を行います。訓練開始時に模擬地震音およびサイレンが吹鳴いたします。繰り返します…」			
									事務局	模擬地震音放送			
										事務局	模擬地震音後サイレン吹鳴		
						人員点呼、各部署指揮者指示で 一次避難(保護具着用、不織布マスク着用)					事務局	サイレン吹鳴後、場内放送 「訓練、訓練、ただいま発生した震度は6、マグニチュード7.9 ガル300でした。繰り返します…」	
						人員点呼後緊急対策本部へ報告(電話もしくは伝令) その他各部署に内規等に応じた地震対応(現場緊急措置対応)					現地対策本部	緊急対策本部自動立ち上げ(震度5強以上は自動立ち上げ) (本部設営は環保G員)	
	10:45~	二次避難 (本館前)		各部署の指揮者指示で二次避難(避難場所では各部署2列で整列) (指揮者が緊急対策本部部員の場合は代理者) 避難後人員点呼 緊急対策本部へ報告						総務班	「訓練、訓練、10:30大規模地震発生に伴い緊急体制Aを発動し緊急対策本部を保安事務所横に設置した。繰り返します…」		
				各部署避難完了 確認後、所長訓示 地震避難訓練は終了 → 津波避難訓練へ移行						現地対策本部	避難状況確認(点呼、被害状況確認)		
	10:55 ~ 11:15	津波避難								事務局	津波警報の情報を確認したことを緊急対策本部へ報告		
										事務局	津波警報情報の場内放送 「訓練、訓練、津波警報が発令されました。直ちに定められた場所へ避難してください。繰り返します…」		
						指揮者指示で津波避難(部署別に整列して避難) *津波対応 措置・点検実施 *避難後人員点呼、緊急対策本部(工業所長室)へ報告 各避難指揮者は「避難場所」、「出社した人数」、「避難を完了した人数」、「未確認の人数」を 迅速に報告してください					現地対策本部	緊急対策本部は所長室に移動	
										総務班	場内放送 「訓練、訓練、緊急対策本部を工業所長室に設置した。繰り返します…」 避難状況の確認		
										現地対策本部	各部署報告確認後、津波警報と避難指示を解除 ⇒本部支援係(環保G)⇒保安事務所員		
					各員、避難場所で放送確認						事務局	津波警報と避難指示の解除 場内放送 「訓練、訓練、津波警報が解除されました。只今をもって避難指示を解除します。繰り返します…」	
											現地対策本部	場内放送確認後、訓練終了を指示し、対策本部解散 ⇒放送班代行(環保G)	
			避難訓練終了						事務局	訓練終了の場内放送 「この放送を持ちまして避難訓練を終了致します。繰り返します…」			